

企業理念

わたしたちは人々の求めるエネルギーを不断に提供し、日本と世界の持続可能な発展に貢献する

- >> 誠実と誇りを、すべての企業活動の原点とする
- >> 環境との調和をはかり、地域の信頼に生きる
- >> 利益を成長の源泉とし、その成果を社会と共に分かち合う
- >> 自らをつねに磨き、知恵と技術のさきがけとなる
- >> 豊かな個性と情熱をひとつにし、明日に挑戦する

J-POWERのプロファイル

J-POWER（電源開発株式会社）は、国内の電力供給の増加を目的として、1952年に政府によって設立されました。以来、半世紀にわたり卸電気事業者として、一般電気事業者（10電力会社）に低廉かつ安定した電力を供給するとともに、全国規模での基幹送電線の建設運用を行ない、わが国の経済発展と国民生活の向上に貢献し、2004年10月には東京証券取引所市場第一部に上場し、完全民営化を果たしました。

創業当時は大規模水力発電の開発に着手し、その後は、急増する夏期の電力需要に対応するべく揚水発電の開発や大容量送電線の建設を進めました。1970年代のオイルショック以降はエネルギー源の多様化を図るため、輸入炭火力発電を積極的に開発するなど、各時代のニーズに適合する発電事業を拡大してきました。

また、1960年以降、世界60数カ国において水力・火力の電源開発に関する調査・設計・施工監理や環境対策等の電力関連コンサルティングを実施し、最近では、自ら発電事業を行なう（IPP事業）など、多彩な国際事業を展開しています。

今後の電力自由化の進展や地球温暖化問題などの事業環境の変化に対応するため、卸電気事業の競争力の強化と「エネルギーと環境の共生」を基調とする新たな事業の創出に取り組んでゆきます。



橘湾火力発電所（徳島県）